

奨励賞

中立エコ生活推進会議

テーマ：子どもと大人が地域で一緒に広げる
エコ生活

子どもも大人も楽しみながらエコ生活を実践していくことを目的として活動している。「中立えこミニ通信」の発行等の取組を新たに実施している。

中立えこミニ通信 第8号
2023年1月 『航行』中立エコ生活推進会議 謙長・藤原・信生
ちゅうりつの立先 菅西マルシェ開催
11月20日、「ちゅうりつの立先・菅西マルシェ」が新町小学校ピロティ一帯にて開催されました。二段式マルシェにて、地元の「立先」に対して販売を行なっていました。「立先」とは、京都市内近郊で収穫された農産物や加工品を、開拓機関を通じて、中立市内へ運搬する仕事です。開拓機関では販賣ましたが、開拓時期には販賣が止まり、立先の仕事はなくなりました。一方で、多くの立先の方々にお越しいただき、大盛況でした。
「中立えこ通信」(年1回発行)に加え、隔月で「中立えこミニ通信」の発行を開始

同志社大学政策学部小谷ゼミ Zero Waste推進事業班

テーマ：イベントにおけるZero Waste推進

地域イベントの運営に携わり、各ブースのSDGs目標への貢献内容を表す「SDGsマップ」を作成・掲示するなどイベントのエコ化に取り組んでいる。

SDGsマップ
SDGsマップ
SDGsやエシカルに取り組んでいることについて記載したカードを各ブースに掲示しました！

特定非営利活動法人 使い捨て時代を考える会

テーマ：生ゴミの削減と堆肥化の実践
まちでの循環生活

「食のあり方」が環境問題に深く関係することを伝えるため、身近にできる循環生活を紹介し、乳幼児と保護者が循環を体感する食農環境企画に取り組んでいる。

コンポストに、料理教室で出た生ゴミを入れる様子（できた堆肥は、まち中の屋上にある畑で活用し、野菜の栽培や収穫も体験）

丼丸 京の魚河岸

テーマ：プラスチックごみ削減を目指した
リターナブル丼容器の導入、展開

「丼丸 京の魚河岸」の3店舗でリターナブルの丼容器を導入し、ポイント特典など工夫しながら、プラスチックごみの削減に取り組んでいる。

リターナブル容器 盛付例
(左)使い捨て容器 (右)リターナブル容器